

健康長寿しまねの推進の基本的な考え方

- 県や二次医療圏域の「健康長寿しまね推進会議」を母体に、県民、関係機関・団体、行政が三位一体となった県民運動を推進し、地域ぐるみの主体的な活動の活性化を図ります。
- 住民が主体となって取り組む生涯を通じた健康づくり、介護予防、生きがいづくり・社会活動を推進します。
- 人と人とのつながりや支え合い、地域の絆を大切にすることにより地域力を高め、すべての人々が役割や生きがいをもって健やかに自分らしく暮らせる健康なまちづくりを推進します。

【基本目標】

「健康寿命を延ばす」

- ・平均寿命を延ばす
- ・65歳の平均自立期間を延ばし、二次医療圏の格差をなくす

【推進すべき柱】

- 1 住民主体の地区ごとの健康づくり活動の推進
- 2 生涯を通じた健康づくりの推進
 - ・将来を担う子どもや若者の健康づくりの推進
 - ・働きざかりの青壮年の健康づくりの推進
 - ・高齢者の健康づくり、介護予防、生きがいづくり、社会活動への支援
- 3 疾病の早期発見、合併症予防・重症化防止
- 4 多様な実施主体による連携のとれた効果的な運動の推進